

造園家・小川涪兵衛の世界：
東山を借景とし琵琶湖疏水の水を取り入れた池泉廻遊式庭園



撮影：2011年11月（京都市左京区）

◆元老山県有朋が造営した別荘

明治時代、南禅寺周辺には琵琶湖疏水から水を引いた庭園のひとつである無鄰菴は、山県有朋の別荘として使われ、日露開戦直前には伊藤博文、桂太郎、小村寿太郎らと日本の外交方針を決める「無鄰菴会議」が開かれたことで知られます。

緩やかな傾斜地と細長い地形を生かし、東山を借景とした庭園（1896年完成）は、その後1941年に京都市に寄贈され、1951年には明治時代の名園として国の「名勝」に指定されています。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）